

2022年2月1日開館！
おかげさまで1周年 中野東図書館



すてきな作品が
お出迎え

エントランスの黒板アートは、年に数回、展示替えをしています。近隣の教育機関や絵本作家の方に協力いただき、毎回すてきな作品を制作いただいています。



↑制作 ども教育宝仙大学 捧ゼミの皆さん

制作過程を楽しむことが
できるのも魅力の一つです。



展示がいっぱい

8階には特別展示室があるほか、階段や吹抜けにも展示があります。この1年、特色豊かな展示をしてきました。今後も、乞うご期待。



↓切り絵作家 下村優介さんの作品

みんなの塗ってくれた
塗り絵が飾られてるっ！



もう一冊いかが？

8階に返却本コーナーが設置されました。ここには図書館に返却されたばかりの本が並んでいます。話題になった本や、気になっていた名作など、思いもよらない掘り出し物が見つかるかもしれません。



カラフルな台座は
よく見ると本のかたち！



赤い屋根の「なかのさかいえ」

7階のどもフロアには、ログハウスがあります。このログハウスは多摩産材事業の一環で造られたものです。開館時に、名前の募集を行い、名前は「なかのさかいえ」に決まりました。ログハウスの中では、親子で絵本を楽しむ姿も見られ、みんなに親しまれています。

季節によって屋根の装飾が変わります。
ぜひ注目してみてください



皆さん、知っていますか？

7階のどもフロアには子育てに関する資料や子どもの成長に合わせた資料の紹介を行う子育て支援アドバイザーが週4日出勤しています。今回は、そんな子育て支援アドバイザーの方に質問をしてみました。

Q. 子育て支援に関してどのような思いを持って取り組んでいますか？

子育てに悩みはつきものですが、すべて「我が子の成長と幸せ」を願う思いが根っこにあります。図書館という限られた場所ですが、親御さんの気持ちに寄り添って大切な子育て期に一緒に関わらせていただけたらと思っています。

Q. 子育て支援はどんな方におすすめですか？

「こんなこと聞きたいのですが…」と申し訳なぞうに言う方がいらっしゃいます。が、ぜひ遠慮なくお声がけください。本で解決できないことは近隣の関連施設を紹介することもございます。一人で悩まずに話に来てほしいです。



ピンク色の名札
が目印です



ワーキングコーナー

ワーキングコーナーは最大3時間、仕事の資料作成や学習などができるスペースです。開館から大変好評で、電源のある席は連日満席となっています。平日の正午と、土日の午後5時以降の時間帯が、比較的空席もあり、狙い目です。



ワーキングコーナー
では打ち合わせや軽食
をとることができちゃっ



仕事探しをお手伝い

中野東図書館では、ハローワークと連携し、就職支援のサポートも行っています。その中でも特に、「マザーズハローワーク出張相談会」は好評です。仕事と家庭の両立を目指したい女性の方向けの相談会で、毎月1回開催しています。詳しくは、図書館HPや館内掲示のポスターをご覧ください。



このポスターが館内に
掲示されています



新たなチャレンジ

中野東図書館では、中野区の図書館として「初」となる様々な試みを実施しています。

上でご紹介した子育て支援アドバイザーは他の館では実施していないサービスで好評いただいております。そして今年さらには託児サービスを開始しました。子育て中のお父さん・お母さんに、図書館で少しでも自分の時間を過ごしてもらおうことを目的としたもので、既に多くの方にご利用いただいています。

これからも様々なことにチャレンジし「地域に根差した図書館」として更なる飛躍を目指してまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



※この記事は中野東図書館が作成しました